

食品ロス削減に向けた商慣習見直しに取り組む事業者の公表

農林水産省は、本年10月30日の「全国一斉商慣習見直しの日」に向け、商慣習見直しに取り組む事業者を調査・募集しました。今般、10月末時点の取組事業者名と取組内容をまとめましたので、公表します。

1. 趣旨

食品ロスを削減するため、農林水産省は、補助事業にて製造業・卸売業・小売業の話合いの場となる「食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチーム」（事務局：公益財団法人流通経済研究所）を設置し、「納品期限の緩和」、「賞味期限表示の大括り化」といった商慣習見直しの取組を推進しています。

全国各地域でできる限り多くの事業者が商慣習見直しに取り組むために、本年10月30日の食品ロス削減の日を「全国一斉商慣習見直しの日」とし、推奨3品目^(注)について、食品小売業者における納品期限の緩和と食品製造業者における賞味期限表示の大括り化（年月表示、日まとめ表示）を呼びかけてきました。

今般、10月30日時点で商慣習見直しに取り組んでいる（または今後取り組む予定の）事業者を取りまとめましたので公表します。まだ取組を進めていない事業者の皆様は、この機会に自社での取り組みをご検討いただければと思います。

また、消費者の皆様におかれましては、こうした取組にご理解いただいた上で、このように食品ロス削減に取り組む商品・店舗を積極的に利用する等により事業者の取組の支援をお願いいたします。

(注) 上記ワーキングチームにおいて、有識者を交えた検討会や実証実験の結果を基に、納品期限を緩和しても小売店舗で廃棄増加等のリスクが少ない品目であるとした飲料、賞味期限180日以上の菓子、カップ麺の3品目。

2. 納品期限の緩和の取組状況

サプライチェーンにおいては、賞味期間の3分の1以内で小売店舗に納品する慣例、いわゆる「3分の1ルール」があります。このルールのもとでは、賞味期間の3分の1以内で納品できなかったものは、賞味期限まで多くの日数を残すにも関わらず、行き場がなくなり廃棄となる可能性があります。このため、厳しい納品期限を緩和することは食品ロスの削減につながることを期待されます。

本年10月30日時点で、納品期限を緩和（または予定）している小売事業者は142事業者であり、前年度より拡大しています（参考：本年3月時点の取組状況は108事業者）。

取組事業者名は以下のとおりです。各事業者が納品期限を緩和している品目の詳細は参考資料1をご覧ください。

納品期限を緩和（または予定）している小売事業者（142事業者）



※うち、公表可能121事業者（赤字：今回新たに掲載する事業者）

【総合スーパー（GMS）】

イオン九州、イオンスーパーセンター、イオンストア九州、イオン東北、イオン北海道、イオンリテール、イオンリテールストア、イオン琉球、イズミ、イトーヨーカ堂、ダイエー、**フジ**、平和堂、ユニー 計14社

【コンビニエンスストア（CVS）】

国分グループチェーン、セイコーマート、セブンイレブン・ジャパン、ファミリーマート、ポプラ、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ローソン 計8社

【生協】

CO-OPとやま、あいコープみやぎ、一宮生協、いばらきコープ、**大阪いづみ市民生協**、おおさかバルコープ、京都生協、コープぎふ、コープぐんま、コープこうべ、コープさっぽろ、コープながの、コープにいがた、コープみやざき、コープみらい、自然派くらぶ生協、全日本海員生協、**東海コープ事業連合**、東都生協、**とちぎコープ生協**、なのはな生協、ならコープ、パルシステム福島、福祉クラブ生協、生協ぶちとまと、三井造船生協、生協ユーコープ、コープ九州事業連合 計28社

【食品スーパー（SM）】

アコレ、**アパアパ赤札堂**、アルビス、イオンビッグ、イオンマーケット、**ウオロク**、遠鉄ストア、大阪屋ショップ、**オーシャンシステム**、オータニ、小田急商事、カスミ、カノー、**かましん**、ぎゅーとら、光洋、**サニーマート**、サミット、**サンショウ**、**サンブラザ**、サンマート、山陽マルナカ、**新鮮マーケット**、スーパーナショナル、スズキヤ、セブンスター、**タカヤナギ**、**中央スーパー**、**天満屋ストア**、東急ストア、東武ストア、とりせん、**西鉄ストア**、西山寛商事、**原信ナルスオペレーションサービス**、**ハルタ**、パロー、福原、**フジマート四国**、フレスタ、豊月、マイヤ、マックスバリュ長野、マックスバリュ西日本、マックスバリュ北陸、マックスバリュ南東北、**マツモト**、マツヤスーパー、ママのセンター、**マルイ**、丸久、マルミヤストア、マルヤ、万惣、ヤオコー、**ヤマナカ**、ヨークベニマル、**横濱屋**、**与野フードセンター**、ライフコーポレーション、ラルズ 計62社

【ドラッグストア・薬局】

イチワタ、ウエルシア薬局、クスリのマルエ、ココカラファインヘルスケア、コメヤ薬局、サッポロドラッグスター、下川薬局、太陽堂、ツルハ 計9社

3. 賞味期限表示の大括り化（年月表示、日まとめ表示）の取組状況

多くの商品の賞味期限表示が年月日で表示されています。一方で、小売業者の在庫商品よりも賞味期限が前であることが理由で、商品を納品できないことがあり、これにより納品できなかった商品は廃棄の可能性が高まります。このた

め、賞味期限を年月または日まとめ（年月日表示のまま、日の表示を例えば 10 日単位で統一）にするなど大括り化して表示することにより、在庫商品と納品する商品の賞味期限が同一となり、食品ロスの削減につながることを期待されます。

本年 10 月 30 日時点で、賞味期限表示を大括り化（または予定）している製造業者は 156 事業者であり、前年度より拡大してきています（参考：本年 3 月時点の取組状況は 120 事業者）。

取組事業者名は以下のとおりです。各事業者が賞味期限表示の大括り化を行っている品目の詳細は参考資料 2 をご覧ください。

また、今般の食品ロス削減月間にあわせて、当省ホームページにおいて、賞味期限表示の大括り化の具体的な取組事例を紹介しております。こちらもぜひご参照ください。

食品ロス削減に向けた賞味期限表示の大括り化事例の公表

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/shoumizirei.html

※事例は参考資料 3 としても添付

賞味期限表示の大括り化に取り組んでいる（または予定している）製造事業者（156事業者）	
※うち、公表可能107事業者（赤字：今回新たに掲載する事業者）	
【清涼飲料】 アサヒ飲料、味の素AGF、伊藤園、 大塚食品 、大塚製菓、 カゴメ 、 キンピラレヅジ 、サントリー食品インターナショナル、 三和伍話 、 ジャスティス 、 タイド ・ドリンコ、 日本コカ・コーラ 、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、明治 計14社	【レトルト食品】 アサヒグループ食品、味の素、 アーデン 、江崎グリコ、エスピー食品、キユーピー、サラダクラブ、 サンハウス食品 、 清水食品 、宝食品、 津田商店 、 にしき食品 、ハウス食品、 はごろもフーズ 、万直商店、明治、 三菱食品 、山形ライスファーム2 1（工房とかちや）、 ヤマキ 、米屋 計20社
【菓子】 芥川製菓、アサヒグループ食品、新野屋、 岩塚製菓 、江崎グリコ、越後製菓、 オークラ製菓 、 大阪屋製菓 、 お菓子の日進堂 、カバヤ食品、 亀屋製菓 、 カルビー 、 クラシエフーズ 、栗山米菓、 サクマ製菓 、 さくら製菓 、 扇雀舎本舗 、 チロルチョコ ・ 松尾製菓 、 でん六 、ネスレ日本、 ノーベル製菓 、 バイン 、平松商店、不二家、 フルタ製菓 、 フルボン 、 北陸製菓 、明治、 名糖産業 、森永製菓、 ヤマザキビスケット 、 山芳製菓 、 有楽製菓 、米屋、 リキ ・コーポレーション、 龍角散 、 ロッテ 計37社	【調味料】 味の素、江崎グリコ、オタフクソース、神田味噌醤油醸造場、キッコーマン食品、サラダクラブ、七福醸造、 渋谷商店 、ときわや醤油、直源醤油、ハウス食品、ヘテパシフィック、 ヤマキ 、 吉村醸造 計14社
【風味調味料】 味の素、 シマヤ 、 マルトモ 、 ヤマキ 計4社	【冷凍食品】 かねます食品、 釧路東水冷凍 、三洋通商 計3社
【その他】 アイリスフーズ、アサヒグループ食品、旭松食品、味の素、味の素AGF、 五十川 、伊之助製麺、今津、ウーケ、尾張製粉、キユーピー、 極洋 、 くみあい食品工業 、 国分グループ本社 、 ゴールドバック 、サッポロビール、サン海苔、三洋通商、椎茸井出商店、 清水食品 、白石興産、高木商店、竹本油脂、 玉木製麺 、 通宝 、 津田商店 、 東洋ライス 、 永井海苔 、 ニコニコのり 、 日本コカ・コーラ 、ハウス食品、 はごろもフーズ 、 朋昆 、 ポッカサッポロフード&ビバレッジ 、 樹田屋食品 、 マルハニチロ北日本 、万直商店、 マルウウ 、 三菱食品 、森永製菓、山形ライスファーム2 1（工房とかちや）、 ヤマキ 、 山田養蜂場本社 、 米屋 計44社	

(注) 複数品目で取り組んでいる事業者があるため、合計は107に一致しない。

<添付資料>

参考資料1 小売事業者における納品期限緩和の取組状況一覧

参考資料2 賞味期限表示の大括り化の取組状況一覧

参考資料3 食品ロス削減に向けた賞味期限表示大括り化事例



食料産業局バイオマス循環資源課

食品産業環境対策室食品ロス削減・リサイクル班

担当者：岸田・野田・高野

代表：03-3502-8111（内線 4319）

ダイヤルイン：03-6744-2066

FAX：03-6738-6552

小売事業者における納品期限緩和の取組状況一覧

◎	納品期限の「1/3ルール」を適用せず、賞味期限の1/2残ししないそれに近い運用を行っている。
○	納品期限の「1/3ルール」を緩和予定で予定時期が決まっている。(記号下のカッコ内は、緩和完了予定時期)
△	納品期限の「1/3ルール」を緩和する予定である。
空欄	納品期限の「1/3ルール」を緩和していない
-	商品の取扱いなし
/	無回答

※流通経済研究所調べ令和2年10月30日時点 ※流通経済研究所の実態調査(令和元年度、令和2年度)、及び平成30年度WTとまとめ、および流通経済研究所主催セミナー「食品ロス削減に向けた小売業の取組」(令和元年度、令和2年度)でのアンケート結果より流通経済研究所作成 ※黄色の塗りつぶしは、令和2年5月公表内容(令和2年3月17日)以降の把握企業・内容更新箇所である。

(1) 総合スーパー

社名	緩和を推奨する品目			緩和を前提として検討すべき品目			その他	品目	備考
	清涼飲料	菓子 (賞味期限150日以上)	カップ麺	袋麺	レトルト食品				
イオン九州(株)	◎	◎	△	△	△				
イオンスーパーセンター(株)	◎	◎	△	△	△				
イオンストア九州(株)	◎	◎	/	/	/	/	/		
イオン東北(株)	◎	◎	△	△	△				
イオン北海道(株)	◎	◎	△	△	△				
イオンリテール(株)	◎	◎	△	△	△		△	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品	
イオンリテールストア(株)	◎	◎	△	△	△		△	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品	
イオン琉球(株)	◎	◎	/	/	/	/	/		
(株) イズミ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰	賞味期限150日以上で納品期限を賞味期限55%残し、150日以内で60%残し
(株) イトーヨーカ堂	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	賞味期限180日以上で常温加工食品全商品	
(株) ダイエー	◎	◎	△	△	△				
(株) フジ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ビール、RTD	
(株) 平松堂	△								
ユニー(株)	◎		/	/	/	/	◎	PB商品	

(2) 食品スーパー

社名	緩和を推奨する品目			緩和を前提として検討すべき品目			その他	品目	備考
	清涼飲料	菓子 (賞味期限180日以上)	カップ麺	袋麺	レトルト食品				
アコレ(株)	◎	◎	△	△	△				
(株) アップお乳堂	◎	◎	◎	/	/	/	/		
アルビス(株)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品	
イオンビッグ(株)	◎	◎	△	△	△				
イオンマーケット(株)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
(株) フオロク	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品	
(株) 遠鉄ストア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
(株) 大原屋ショップ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
(株) オアシスシステム	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品	
(株) オータニ	△	△	△	△	△	△	△	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
小田急商事(株)	△	△	△	△	△	△	△		
カスミ(株)	◎	◎	/	/	/	/	/		
(株) カノー	△	△	△	△	△	△	/		
(株) かましん	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品	
(株) ぎゅーとら	△	△	△	△	△	△	△		
(株) 光洋	◎	◎	△	△	△	△	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品	
(株) サニーマーケット	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品	
サニット(株)	△	△	△	△	△	△	/		
(株) サンショウ	◎		◎		◎		◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、加工水産品、日配水物類(豆腐、こんにゃく等)、生麺類、納豆、牛乳、アイスクリーム、ハム・ソーセージ、等	
(株) サンブラザ	◎	◎	◎	/	/	/	/		
(株) サンマート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
(株) 山崎マルナカ	◎	◎	△	△	△	△	◎		
(株) 新緑マーケット	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、乾物加工食品	菓子の納品期限は賞味期限60%残し
(株) スーパージョナル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品	
(株) スズキヤ	△	△	△	△	△	△	/		
(株) セブンスター	△	△	△	△	△	△	/		
(株) タカヤナギ	◎	◎	△	△	△	△	◎		
(株) 中央スーパー	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	加工食品全般	賞味期限60日以上の商品が対象
(株) 天満屋ストア	△	△	△	△	△	△	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
(株) 東急ストア	◎		/	/	/	/	/		
(株) 東武ストア	△	△	△	△	△	△	△		
(株) とりせん	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	調味料、スープ、缶詰、冷凍食品等	
(株) 西鉄ストア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、餅等	
西山商事(株)	△	△	△	△	△	△	/		
西武デパート・フレッシュサービス(株)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品	冷凍食品の納品期限緩和を検討中、時期は未定
(株) バルタ	◎	◎	◎	/	/	/	/		
(株) バロー	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		賞味期限180日以上で常温加工食品全商品
(株) 福寿	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
(株) フジマート四国	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
(株) フレスト	◎	◎	△	△	△	△			
(株) 豊月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	/		
(株) マイヤ	△	△	△	△	△	△	△	調味料、スープ、缶詰等	
マックスバリュ吉野(株)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品	冷凍食品の納品期限緩和を検討中、時期は未定
マックスバリュ西日本(株)	◎	◎	△	△	△	△	△	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
マックスバリュ花巻(株)	◎	◎	△	△	△	△	△		
マックスバリュ南東北(株)	◎	◎	△	△	△	△	△		
(株) マツモト	◎ (2020年11月)	◎ (2020年11月)	◎ (2020年11月)	/	/	/	/		
(株) マツダスーパー	△	△	△	△	△	△	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
(株) ママのセンター	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
(株) マルイ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品	冷凍食品の納品期限緩和を検討中、時期は未定
(株) 丸久	△	△	△	△	△	△	△	調味料、スープ、缶詰等	
(株) マルミヤストア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
(株) マルヤ	△	△	△	△	△	△	△		
(株) 万葉	△	△	△	△	△	△	/		
(株) ヤオコー	◎		◎	◎	◎	◎	◎	米、酒類は対象外	
(株) ヤマナカ	◎	◎	◎	△	△	△	△	スープ、缶詰、冷凍食品	
(株) ヨーク	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	賞味期限180日以上で常温加工食品全商品	
(株) ヨークベニマル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	賞味期限180日以上で常温加工食品全商品	
(株) 横浜屋	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品	
(株) 丹野フードセンター	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品	
(株) ライフコーポレーション	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	賞味期限150日以上で常温加工食品全商品	
(株) ラルズ	△	△	△	△	△	△	/		

(3) 生協

社名	緩和を要する品目			緩和を前提として検討すべき品目		その他	品目	備考
	清涼飲料	菓子 (賞味期間180日以上)	カップ麺	袋麺	レトルト食品			
生活協同組合CO-OPとやま	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	組合員宅着時点の基準（宅配事業等）
生活協同組合あいコープみやぎ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	組合員宅着時点の基準（宅配事業等）
一宮生活協同組合	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
いばらきコープ生活協同組合	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
大宮いずみ生協生活協同組合	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
生活協同組合おきかバブルコープ	△	△	△	△	△	△	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
京都生活協同組合	△	△	△	△	△	△	加工食品全般	
生活協同組合コープだも	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
生活協同組合コープぐんま	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
生活協同組合コープこうべ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
生活協同組合コープなごや	◎	◎	◎	◎	◎	◎	加工食品全般	賞味期間60日以上の商品が対象
生活協同組合コープながの	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
生活協同組合コープいがた	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
生活協同組合コープみやぎ	△	△	△	△	△	△	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
生活協同組合コープみらい	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
自然派くらぶ生活協同組合	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
全日本海産生活協同組合	△	△	△	△	△	△	/	
生活協同組合連合会東海コープ事業連合	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	宅配事業が対象
京都生活協同組合	◎	◎	/	/	/	/	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
とちぎコープ生活協同組合	◎	◎	◎	/	/	/	/	
なのはな生活協同組合	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	組合員宅着時点の基準（宅配事業等）
市民生活協同組合ならコープ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
生活協同組合バルシステム福島	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
福祉クラブ生活協同組合	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
生活協同組合ふちとまと	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	組合員宅着時点の基準（宅配事業等）
三井造船生活協同組合	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
生活協同組合ユーコープ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	賞味期間180日以上の商品が対象
生活協同組合連合会コープ九州事業連合	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、冷凍食品	全店舗及び物店舗事業

(4) コンビニエンスストア

社名	緩和を要する品目			緩和を前提として検討すべき品目		その他	品目	備考
	清涼飲料	菓子 (賞味期間180日以上)	カップ麺	袋麺	レトルト食品			
国分グループサービスチェーン（株）	◎	◎	◎	◎	△			レトルトは2020年内の変更を検討中。時期は未定
(株) セイコーマート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、酒類等を含め賞味期間がある商品全て対象	
(株) セブン-イレブン・ジャパン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	賞味期間180日以上の常温加工食品全商品	
(株) ファミリーマート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	冷凍食品	
(株) ポプラ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	缶詰、素材食品・嗜好品・機能性表示食品等	2020年8月31日～変更済
ミニストップ（株）	◎	◎	△	◎	◎	◎		
山崎製パン（株）デイリーヤマザキ事業統括本部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	賞味期間180日以上の常温加工食品全商品	
(株) ローソン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	缶詰、素材食品・嗜好品・機能性表示食品等	2020年8月31日～変更済

(5) ドラッグストア・薬局

社名	緩和を要する品目			緩和を前提として検討すべき品目		その他	品目	備考
	清涼飲料	菓子 (賞味期間180日以上)	カップ麺	袋麺	レトルト食品			
(株) イチワタ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
ウエルシア薬局（株）	◎	◎	△	△	△	△	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
(株) クスリのマルエ	◎	△	△	△	△	△		
(株) ココカラファインヘルステア	△	△	△	△	△	△	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	
(株) コメヤ薬局	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
(株) サッポロドラッグストアー	◎	◎	△	△	△	△		
(株) 下川薬局	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品等	
(株) 太陽堂	△	△	△	△	△	△		
(株) ツルハ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調味料、スープ、缶詰、農産加工品、加工水産品、冷凍食品等	レトルト食品、その他は、賞味期間180日以上の商品が対象

賞味期限表示の大括り化の取組状況一覧

※流通経済研究所調べ令和2年10月30日時点、企業名五十音順。

※表中の()は賞味期限日数をあらわす。

※黄色の塗りつぶしは、令和2年5月公表内容(令和2年3月末時点)以降の把握企業・内容更新箇所である。

No	社名	現在、賞味期限表示の大括り化(年月表示、日と日表示)への切り替えが行われている品目	今後、左記の品目以外に新たに賞味期限表示の大括り化(年月表示、日と日表示)への切り替えの予定がある品目
1	アイリスフーズ(株)	もち、包装米飯(180日以上)	
2	芥川製菓(株)	菓子(180日以上及び180日未満)	
3	アサヒ飲料(株)	賞味期限240日以上のPET、缶、賞味期限1年以上の全ての容器	
4	アサヒグループ食品(株)	菓子(180日以上)、レトルト食品(1年以上)、即席みそ汁、スープ類、健康食品、サプリメント類、育児用粉乳、ベビーフード類(1年以上)など	
5	旭松食品(株)	乾物(とうもろこし) (1年以上)	乾物・スープ(180日以上)
6	味の素(株)	風味調味料(1年以上)、レトルト食品(1年以上)、調味料(1年以上)、スープ類、おかゆ、味噌汁の素(1年以上)	
7	味の素AGF(株)	嗜好飲料(レギュラーコーヒー、インスタントコーヒー、スティック嗜好飲料など)、1年以上、液体コーヒー(ボトルコーヒー、ポーションタイプ、180日以上)、クリームミングパウダー、ガムシロップ(1年以上)など	
8	(株)アーデン	レトルト食品(スープ、パスタソース、カレー、ぜんざい、炊き込みご飯の素、混ぜご飯の素、1年以上)	
9	(株)新野屋	菓子(180日未満)	
10	五十川(株)	乾物(1年以上)	
11	(株)伊藤園	飲料、茶葉製品(原則180日超)	
12	伊之助製菓(株)	乾糖(180日以上)	
13	今津(株)	瓶缶詰、乾物、乾燥パスタ、片栗粉、天かす、雑穀、はちみつ(1年以上)	
14	岩塚製菓(株)	菓子(180日以上及び180日未満)	
15	(株)ウーケ	無菌包装米飯(180日以上1年未満)	
16	江崎グリコ(株)	菓子(180日以上)、レトルト食品(1年以上)、カレー料理用調味料、チャーハンのもと、ぞうすいのもと等(1年以上)	
17	エスピー食品(株)	ルウ製品の一部(1年以上)	
18	越後製菓(株)	菓子(1年以上)	
19	オークラ製菓(株)		菓子(180日~1年未満)
20	大阪屋製菓(株)	菓子(180日以上)	
21	大塚食品(株)	炭酸飲料(1年以上)	茶系飲料(180以上)
22	大塚製菓(株)	清涼飲料、炭酸飲料、栄養食品、サプリメントなど(1年以上)	
23	オタフクソース(株)	調味料(1年以上)	
24	お菓子の日産堂(有)	菓子(180日以上1年未満及び180日未満)	
25	尾張製粉(株)	乾糖(1年以上)、麦茶(1年以上)、小麦粉小袋(1年以上)、ミックス粉(1年以上)、米粉(1年以上)	
26	カゴメ(株)	果実・野菜飲料(1年以上) ※令和2年10月初旬より年月表示を開始	
27	(株)かねます食品	冷凍食品(1年以上)	
28	カバヤ食品(株)	菓子(180日以上)	
29	亀屋製菓(株)		菓子(180日以上)
30	カルビー(株)	菓子(180日以上)	菓子(180日未満)
31	神田味噌醤油醸造場	調味料(180日以上)	
32	キッコーマン食品(株)	調味料(1年以上)	
33	キュービー(株)	レトルト食品(1年以上)、ジャム、スープ、ソース、素材加工品、調理ソース、米(1年以上)の一部	
34	(株)種洋	缶詰(1年以上)	
35	キリンパレージ(株)	賞味期限180日以上のPET、缶、紙、瓶商品	
36	創路東水冷凍(株)	冷凍食品(1年以上)	
37	くみあい食品工業(株)	びん詰(1年以上)	
38	クラシエフーズ(株)	菓子(1年以上)	菓子(180日以上1年未満)
39	(株)栗山米菓	菓子(180日以上)	
40	部分グループ本社(株)	缶詰(1年以上)、びん詰(1年以上)	
41	ゴールドバック(株)	缶詰(1年以上)	
42	サクマ製菓(株)	菓子(180日以上)	
43	さくら製菓(株)	菓子(180日未満)	
44	サッポロビール(株)	ビールテイストの缶製品、びん製品	
45	(株)サダクラブ	レトルト食品(1年以上)、調味料(1年以上)	
46	サントリー食品インターナショナル(株)	賞味期限240日以上の炭酸飲料、茶系飲料、果実、野菜飲料、コーヒー飲料、天然水、フレーバーウォーター、機能性飲料、乳性飲料	
47	(株)サン海苔	海苔(180日以上)	海苔(180日以上1年未満)
48	サンハウス食品(株)		レトルトカレー(1年以上)
49	三洋通商(株)		冷凍食品(1年以上)、フルーツ缶詰(1年以上)
50	三和缶詰(株)	炭酸飲料(1年以上)	
51	椎茸井出商店		乾物干し椎茸(1年以上)
52	七福醸造(株)	調味料(1年以上)	
53	(株)渋谷商店	調味料(180日未満)	
54	(株)シマヤ	風味調味料(1年以上)	
55	清水食品(株)	缶詰(1年以上)、びん詰(1年以上)、レトルト食品(1年以上)	
56	(株)ジャスティス		ミネラルウォーター(1年以上)
57	白石興産(株)	乾糖(1年以上)	
58	(株)扇省輪本舗	菓子(180日以上)	
59	ダイドードリンコ(株)	炭酸飲料(1年以上)、茶系飲料(1年以上)、果実、野菜飲料(1年以上)、コーヒー飲料(1年以上)、水・その他飲料(1年以上)	
60	(株)高木商店	缶詰(1年以上)	
61	宝食品(株)	レトルト食品(1年以上)	
62	竹本油脂(株)	食用油(1年以上)	
63	(有)玉木製麺	そば(180日未満)	
64	子ルルチョコ(株)、松尾製菓(株)	菓子(1年以上)	
65	(株)通宝		海苔(180日以上1年未満)
66	(株)津田商店	缶詰(1年以上)、レトルト食品(1年以上)	
67	(株)でん六	菓子(180日以上)	
68	東洋ライス(株)	無菌包装米飯(180日以上1年未満)	
69	(有)ときわや醤油		調味料
70	風源醤油(株)	調味料(1年以上、品質による)	
71	永井海苔(株)	乾物(1年以上)	
72	ニコニコのり(株)	海苔(1年以上)	
73	(株)にしき食品	レトルト食品(1年以上)	
74	日本コカ・コーラ(株)	炭酸飲料、茶系飲料、果実飲料、野菜飲料、コーヒー飲料、アルコール飲料、水製品、スポーツ飲料、スープなど(賞味期限10ヶ月以上)	
75	ネスレ日本(株)	菓子(180日以上及び180日未満)	
76	ノーベル製菓(株)	菓子(180日以上)	
77	バイオン(株)	菓子(180日以上)	
78	ハウス食品(株)		レトルト食品(1年以上)、調味料(1年以上)、スライス、デザート(1年以上)
79	はごろもフーズ(株)	缶詰(1年超)、びん詰(1年超)、レトルト食品(1年超)、パスタ製品(1年超)、サプリメント製品(1年超)	
80	平松商店		菓子(180日未満)
81	(株)不二家	菓子(180日以上)	
82	フルタ製菓(株)	菓子(180日以上)	
83	(株)ブルボン	菓子(180日以上)	
84	ヘチパシフィック(株)		調味料(1年以上)
85	(株)朋昆	綿布製品	

賞味期限表示の大括り化の取組状況一覧

※流通経済研究所調べ令和2年10月30日時点、企業名五十音順。

※表中の()は賞味期限日数をあらわす。

※黄色の塗りつぶしは、令和2年5月公表内容(令和2年3月末時点)以降の把握企業・内容更新箇所である。

No	社名	現在、賞味期限表示の大括り化(年月表示、日まどめ表示)への切り替えが行われている品目	今後、左記の品目以外に新たに賞味期限表示の大括り化(年月表示、日まどめ表示)への切り替えの予定がある品目
86	北陸製菓(株)	菓子(180日以上及び180日未満)	
87	ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)	その他飲料(1年以上)	茶系飲料(1年以上)、果実、野菜飲料(1年以上)、コーヒー飲料(1年以上)、その他飲料(1年以上)、スープ類(1年以上)
88	岩田屋食品(株)	乾麺(1年以上)	半生麺・そば粉
89	マルトモ(株)	風味調味料(1年以上)	
90	(株)マルパニチロ北日本	缶詰(1年以上)、びん詰(1年以上)	
91	(株)マルユウ	缶詰(1年以上)	
92	(株)万直商店		レトルト食品(180日以上1年未満)、木の実、乾燥果実(1年未満)
93	三菱食品(株)	缶詰(1年以上)、レトルト食品(1年以上)	
94	(株)明治	チョコレート菓子(180日以上)、ミネラルウォーター等(1年以上)、レトルト食品(1年以上)	賞味期限1年以上の家庭用商品(常温、冷凍商品)を順次切り替え
95	名糖産業(株)	菓子(180日以上)	
96	森永製菓(株)	菓子(180日以上)、ココア、ケーキックス、フリーズドライ、プロテインパウダー(1年以上)	
97	(株)山形ライスファーム21(工房とかちや)		レトルト食品(180日以上1年未満)、うち豆、むきくるみ、いりごま、大豆、きな粉(1年未満)
98	ヤマキ(株)	レトルト食品(1年以上)	液体調味料(1年以上)、風味調味料(1年以上)、乾物：かつおぶし(1年以上)、乾物：煮干し(1年以上)
99	ヤマザキビスケット(株)	菓子(180日以上)	
100	(株)山田養蜂場本社	はちみつ、はちみつ加工品、いわゆる健康食品、惣菜等	
101	山芳製菓(株)	菓子(180日以上)	
102	有楽製菓(株)	菓子(180日以上)	
103	吉村醸造(株)		味噌(180日~1年未満)
104	米屋(株)	菓子(180日以上)、缶詰(1年以上)、レトルト食品(1年以上)	
105	(有)リキ・コーポレーション	菓子(180日以上1年未満及び180日未満)	
106	(株)龍角散	菓子(180日以上)	
107	(株)ロッテ	菓子(180日以上)	



食品ロス削減に向けた 賞味期限表示の大括り化事例

令和2年10月
食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチーム事務局
公益財団法人 流通経済研究所

-
- このほど「食品ロス削減に向けた 賞味期限表示大括り化の事例」を作成しました。
 - 食品流通では、食品ロス削減や物流効率化が課題となっております。賞味期限表示の大括り化（年月表示、日まとめ表示）は、それらの課題解決につながることから、取組の拡大が期待されています。
 - 本資料では、賞味期限表示を大括り化した食品メーカーのヒアリングをもとに、各社で認識されている効果や、各社が実施にあたって留意した点などを紹介しています。
 - 賞味期限表示大括り化を検討されている食品メーカー、および流通に関わる皆様の参考になれば幸いです。

本資料についてのお問い合わせは、以下までお願いいたします。

公益財団法人流通経済研究所
流通・国際研究開発室 政策調査担当

電話番号：03-5213-4533

お問い合わせフォーム：https://www.dei.or.jp/form/ryuken_cont

本資料の構成

はじめに：賞味期限表示大括り化の意義と効果

事例 1 アサヒ飲料株式会社

事例 2 味の素株式会社

事例 3 江崎グリコ株式会社

事例 4 カルビー株式会社

事例 5 キリンビバレッジ株式会社

はじめに：賞味期限表示大括り化の意義と効果（1/4）

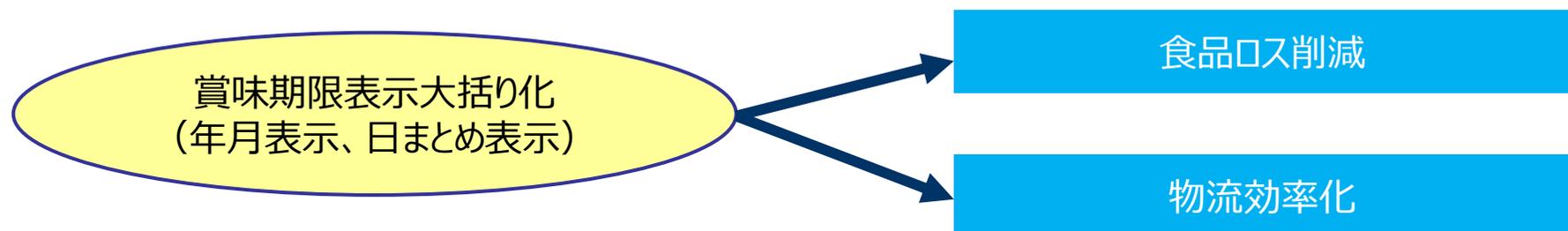
■ 食品ロス削減

- 流通の現場では、先入れ先出しの商品管理を行っているために、前回よりも賞味期限の古い商品は納入しない慣行となっています。
- そのため、年月日表示の場合には日付順の納入が求められ、前回納入分よりも1日でも古い商品は納入できず、食品ロスの発生につながる場合があります。
- 賞味期限表示を大括り化（年月表示または日まとめ表示^(※)）することで、日付順の対応から月順の対応に変わるため、こうした事態が起こりにくくなり、食品ロスの発生が抑制されることが期待されます。

- (※)
- **年月表示**：賞味期限を「年月日」ではなく「年月」で表示することです。賞味期限が3ヶ月を超える食品は、賞味期限を「年月」で表示することが認められています。
 - **日まとめ表示**：年月表示にすると「日」が切り捨てられ、賞味期限が最大1ヶ月短くなります。賞味期限の短縮幅を短くするために、月ではなく10日単位などでまとめる方法が「日まとめ表示」です。

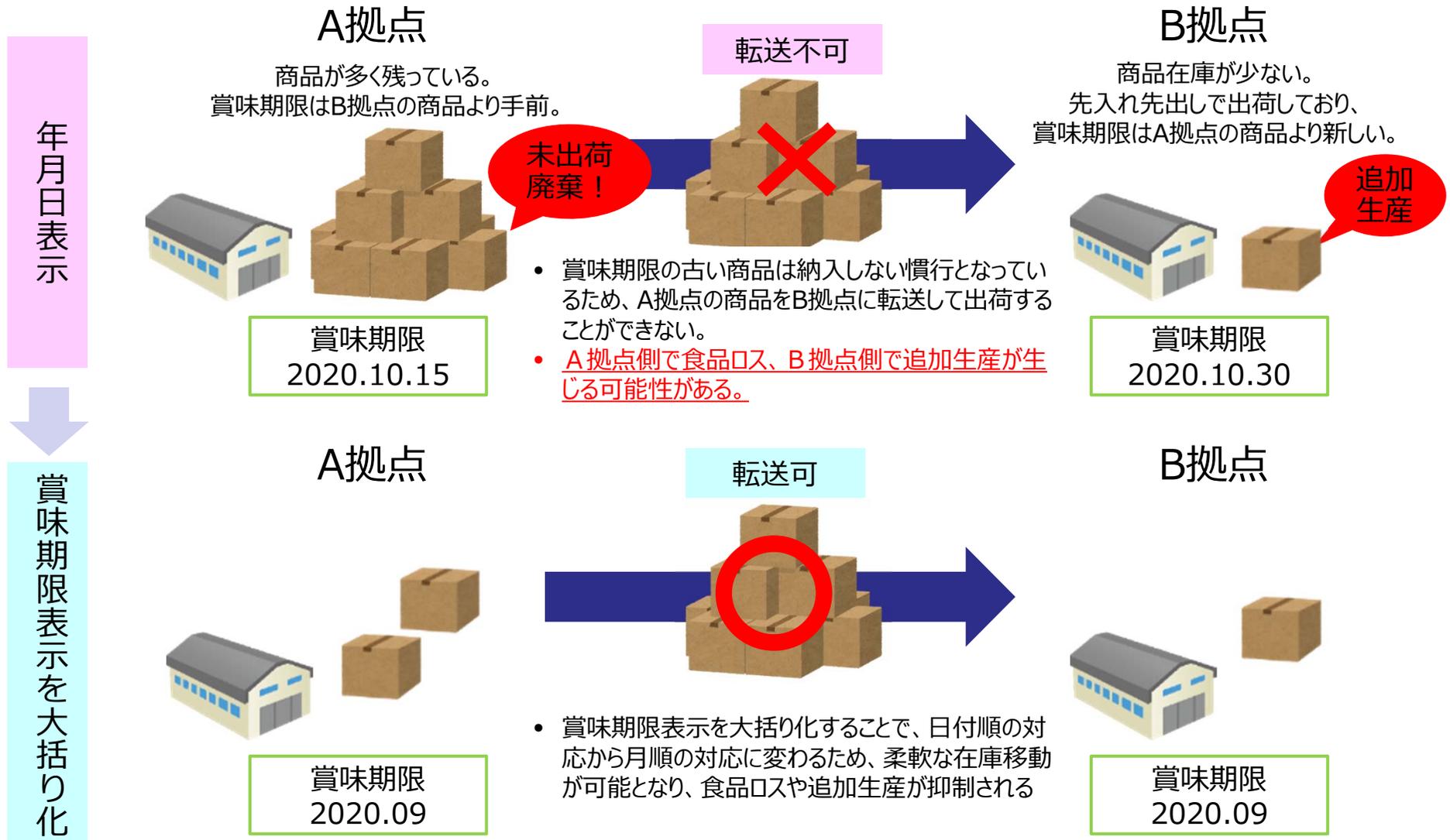
■ 物流効率化

- また賞味期限表示を大括り化することによって、商品の管理単位が少なくなります。
- たとえば、年月日表示から年月表示に変更すると、1商品あたりの管理単位数は365から12にまとまります。
- これにより、製・配・販各層において、保管・配送・入出荷等の物流効率化につながることを期待されます。



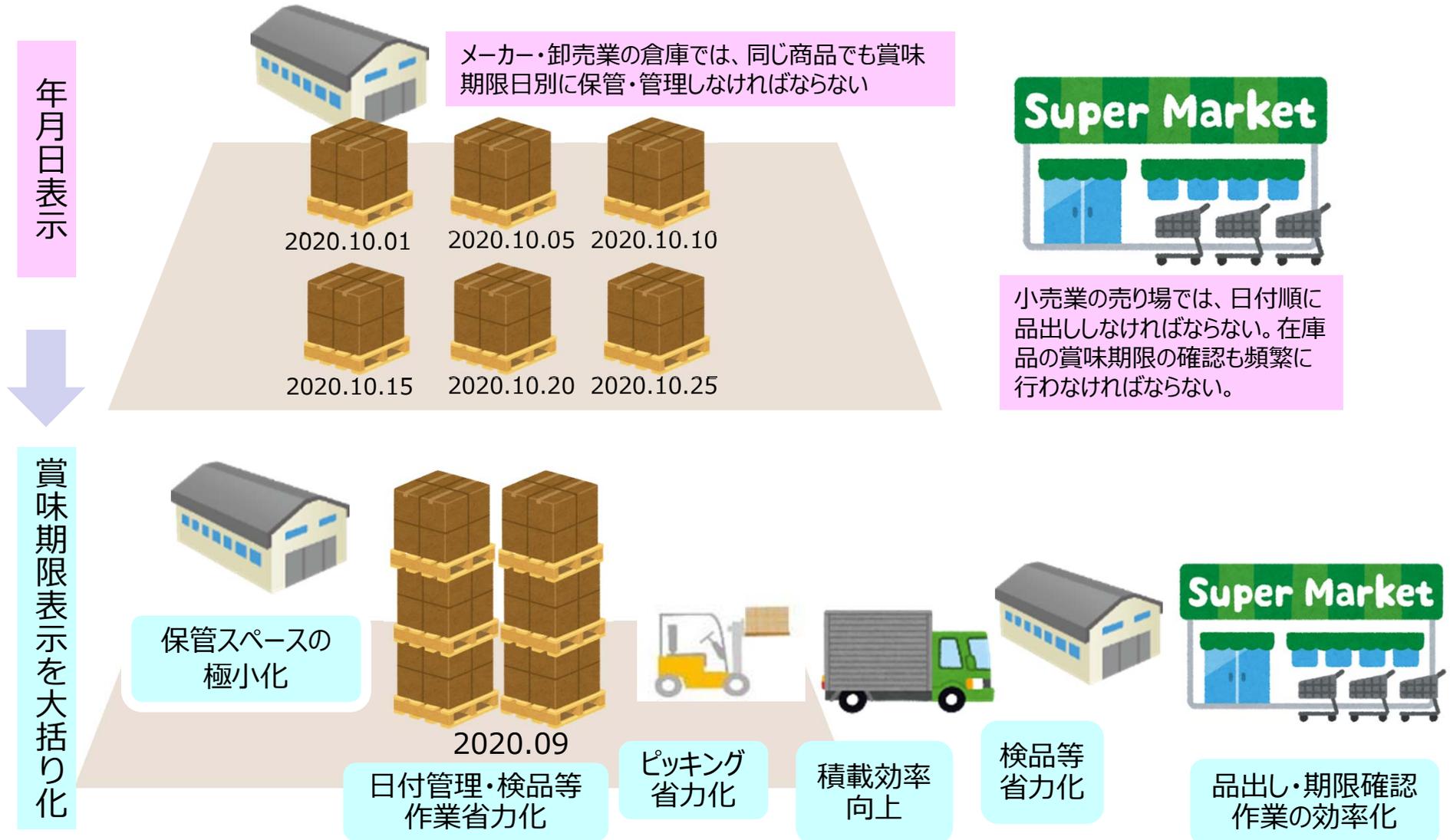
はじめに：賞味期限表示大括り化の意義と効果（2/4） – 食品ロス削減効果

賞味期限の古い商品は納入しない慣行となっているため、物流拠点間の商品の転送ができなかった在庫が、転送可能となることで食品ロス発生が抑制される。



はじめに：賞味期限表示大括り化の意義と効果（3/4） – 物流効率化効果

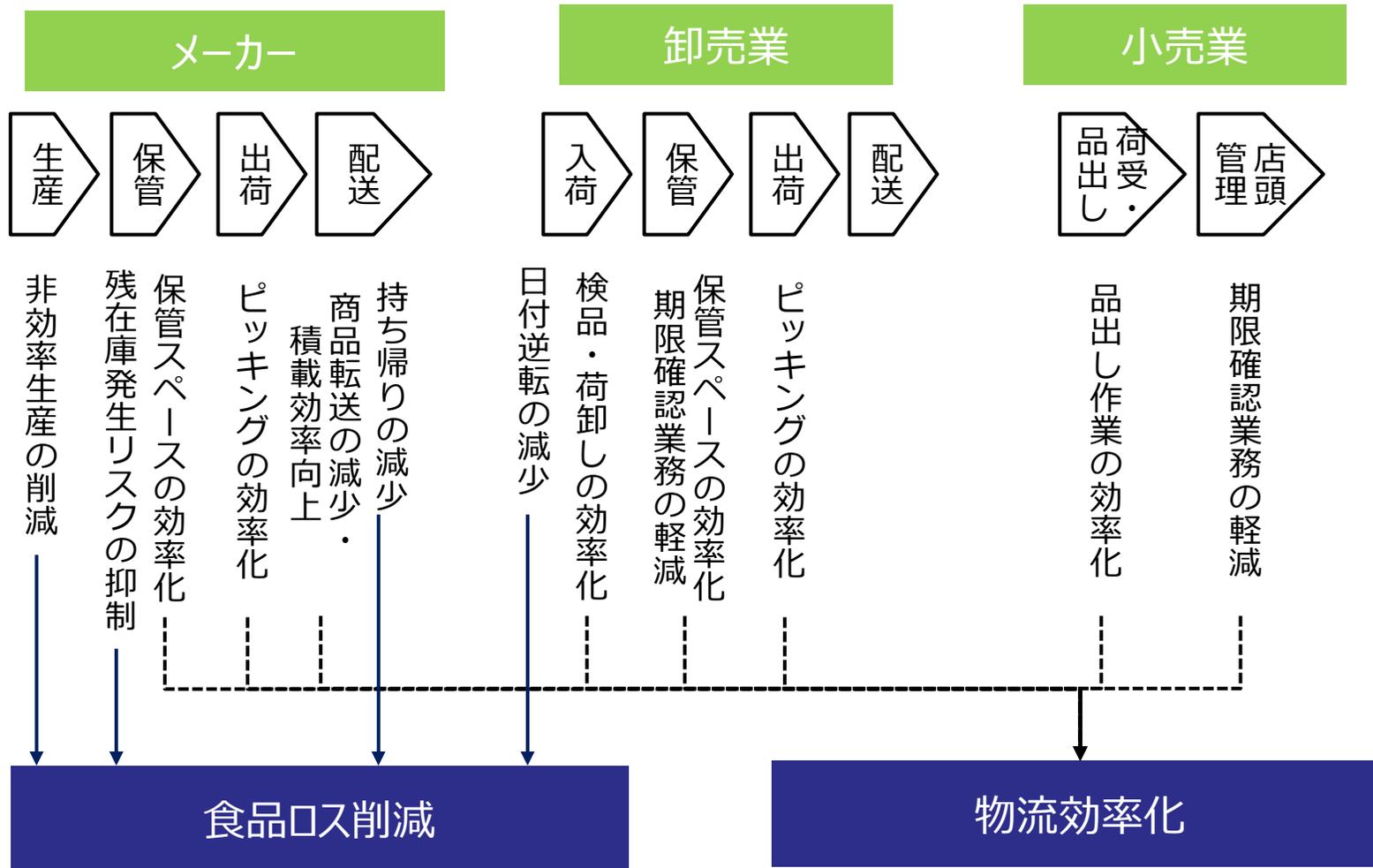
賞味期限表示が大括り化されることで、商品の管理単位が少なくなり、製・配・販各層で保管・配送・入出荷等の効率化が期待される。



出所：農林水産省資料（2020）にもとづき、流通経済研究所作成。

はじめに：賞味期限表示大括り化の意義と効果（4/4）

賞味期限表示大括り化の効果



事例 1 アサヒ飲料株式会社

■ 実施時期・実施内容

実施時期	商品	実施内容
2013年 5月～	「アサヒ おいしい水 富士山」「アサヒ おいしい水 六甲」各PET2L	年月日表示から 年月表示に移行
2017年 4月～	「アサヒ おいしい水 富士山」「アサヒおいしい水 六甲」各PET600ml	
	「アサヒ おいしい水 富士山のバナジウム天然水」の全商品	
2017年 9月～	賞味期限12ヶ月以上の缶、ボトル缶商品	
2018年 4月～	賞味期限 8ヶ月以上の缶、PETボトル商品	

年月表示への移行イメージ

年月日
表示



年月
表示



■ 賞味期限表示大括り化による効果

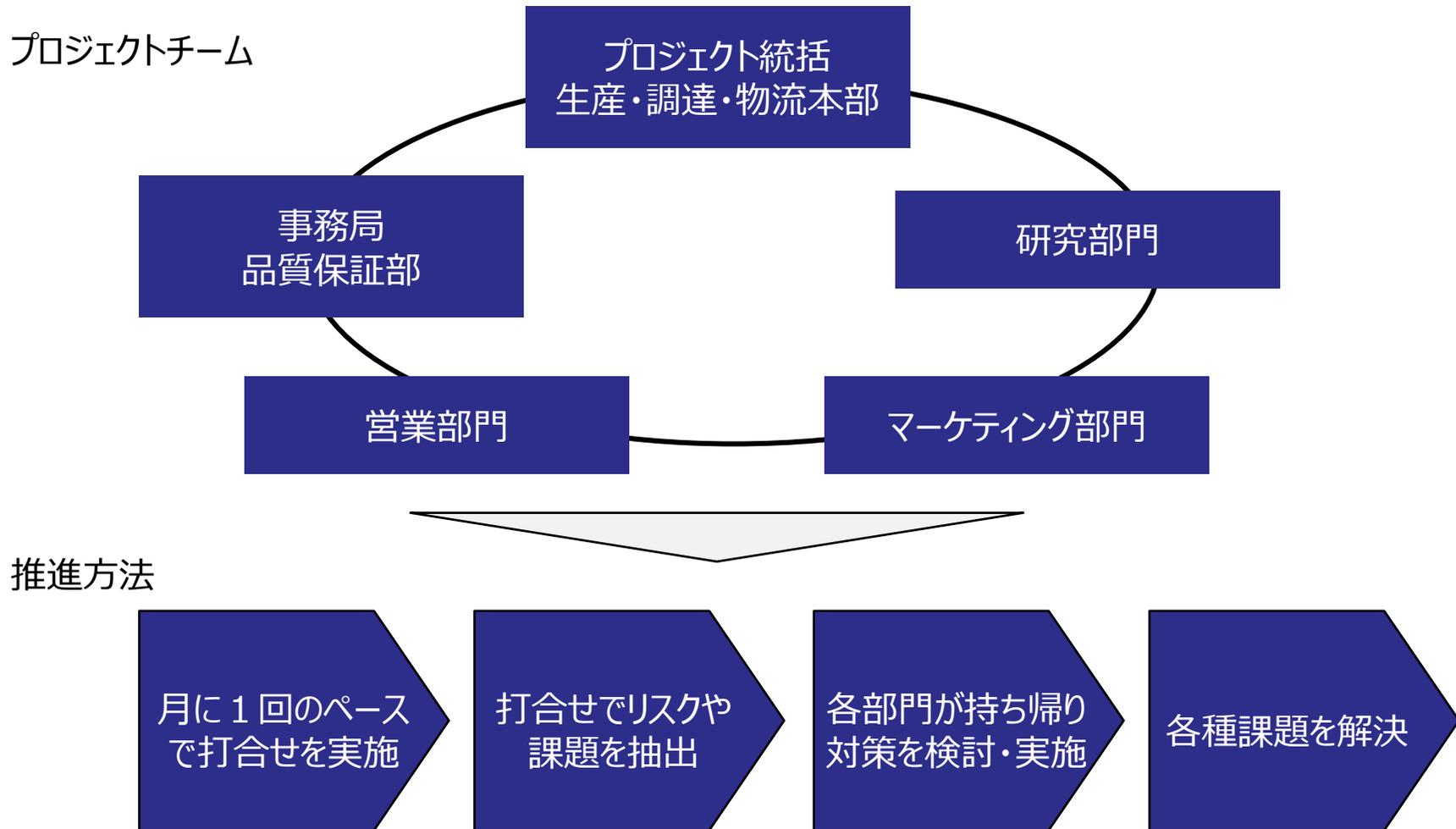
- 商品管理区分が月単位にまとまることで、保管スペース・保管作業が効率化
- 商品管理区分が月単位にまとまることで、柔軟な在庫移動が可能となり、食品ロス発生リスクが低減
- 商品管理区分が月単位にまとまることで、物流部門の管理業務（需給管理・在庫管理等）の負担が軽減

■ 実施方法・実施にあたって留意した点

- 賞味期限延長：年月表示化の対象商品とするため、賞味期限を8カ月まで延長できるものについては、十分な検証をした上で延長を実施
- 印字ミス防止：対象品目を一斉に切り替えるのではなく、徐々に切り替えることにより、設備変更起因する印字ミスの発生を防止

事例 1 アサヒ飲料株式会社：プロジェクト立ち上げによる取組の推進

- 2016年12月、新たに「賞味期限年月表示プロジェクト」を立ち上げて、部門横断で各種課題の解決に取り組み、年月表示への移行を加速させた。



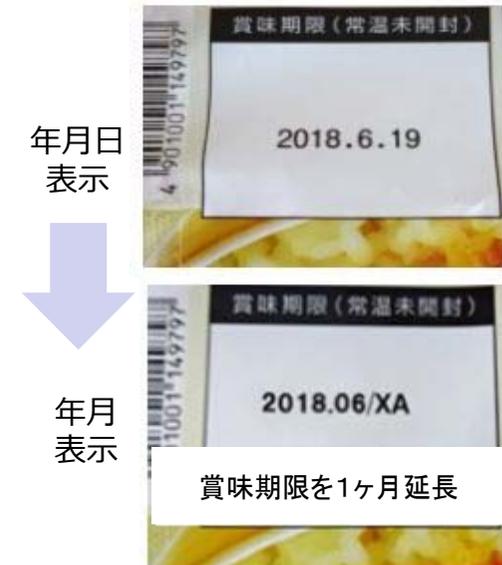
出所：アサヒ飲料株式会社ヒアリングをもとに経済研究所が作成。

事例 2 味の素株式会社

■ 実施時期・実施内容

実施時期	主な対応製品	実施内容
2017年2月発売の 3品目	「味の素 K K ふんわりかに玉の素」、 「味の素 K K 麻婆春雨」	年月日表示から 年月表示に移行
2017年8月発売の 70品目	「クノール® カップスープ」、 「味の素 K K コンソメ」、「鍋キューブ®」他	
2018年2月発売の 54品目	「Cook Do®」、 「Cook Do®きょうの大皿®」他	
2018年8月発売の 49品目	「ほんだし®」、「味の素 K K 中華あじ」、 「丸鶏がらスープ」他	

賞味期限表示例
(賞味期限を延長して「年月」表示する場合)



■ 賞味期限表示大括り化による効果

- 商品管理区分が月単位にまとまることで、検品時間が効率化され納品時間が減少
- 在庫を月単位で管理できるようになり、在庫の偏在を防ぐための拠点間配送が減少
- 商品管理区分が月単位にまとまることで、物流混乱時でも在庫調整がしやすくなり、災害への対応力が向上

■ 実施方法・実施にあたって留意した点

- 賞味期限延長：賞味期限が1年以上の家庭用製品を対象に、「年月表示化」に伴い賞味期限が短くならないよう、現行期間を原則1カ月以上に延長できることを確認し、「年月表示化」を実施
- 消費者対応：消費者からのお問い合わせには、「フードロス削減の取組である」ことを説明し、ご納得をいただいた

事例 2 味の素株式会社：部門ごとの取組内容

- 各部門が連携して、それぞれ以下の役割を担い、年月表示への移行を進めた。

広報・渉外

業界団体・メディア対応

情報システム

基幹システム・各種情報システムやインターフェース改修

開発

賞味期限延長

技術標準書
改訂

生産

検査装置・管理
システムの改修

生産・出荷管理方法
の見直し

物流

倉庫CPU・物流
システムの改修

入在庫・検品
オペレーションの見直し

販売

お客様へ
のご案内

品質保証

賞味期限表示ルール改訂

お客様
相談センター

お問い合わせ対応手順見直し

事例3 江崎グリコ株式会社

■ 実施時期・実施内容

実施時期	商品	実施内容
従来より実施済	チョコレート、ビスケット、キャンディー等	年月日表示から年月表示に移行
2015年2月より順次実施	カレールーや賞味期限が1年以上のレトルト食品等	

賞味期限年月表示化対象商品例



■ 賞味期限表示大括り化による効果

- 在庫を月単位で管理できるようになり、在庫の偏在を防ぐための拠点間配送が減少
- 商品管理区分が月単位にまとまることで、物流部門の管理業務（需給管理・在庫管理等）の負担が軽減
- 品出し業務の軽減につながるなど、取引先からは協力的・好意的な反応

■ 実施方法・実施にあたって留意した点

- 推進体制：営業、物流、製品開発、研究など、全社的な横断プロジェクトを推進
- 賞味期限延長：賞味期限表示が最大で30日短縮されるため、賞味期限を最大で1ヶ月延長して対応
- JANコード（※）は変更せずに賞味期限表示大括り化を実施

（※）JANコード：「どの事業者の、どの商品か」を表す、世界共通の商品識別番号。商品パッケージには、バーコードスキャナで読み取れるよう、バーコード化され表示されている。

事例 3 江崎グリコ株式会社：実施スケジュール

2015年の江崎グリコ株式会社の賞味期限表示大括り化の実実施スケジュール

時期	実施内容
2014年9月以前	取引先の反応の事前ヒアリング
2014年9月	経営幹部への報告
2014年10月	対象商品の決定
	対外対応準備完了
	営業現場への説明実施
	生産部門での対応準備開始
2014年11月	取引先への案内開始
2015年2月以降	年月表示への変更開始

事例 4 カルビー株式会社

■ 実施時期・実施内容

実施時期	商品	アイテム数	実施内容
2019年6月1日～	成形ポテトチップス（ポテトチップクリップス）	9アイテム	年月日表示から 年月表示に移行
2019年10月1日～	ポテトチップス（堅あげ含む）	255アイテム	
2020年3月1日～	Jagabee （じゃがビー）	40g（スタンドパック型）	
		80g（16g×5袋入り）	



■ 賞味期限表示大括り化による効果

- 商品管理区分が月単位にまとまることで、保管スペース・保管作業が効率化
- 商品管理区分が月単位にまとまることで、柔軟な在庫移動が可能となり、非効率生産や残在庫の発生を抑制し、食品ロスを削減
- 在庫を月単位で管理できるようになり、在庫の偏在を防ぐための拠点間配送が減少
- 商品管理区分が月単位にまとまることで、物流混乱時でも在庫調整がしやすくなり、災害への対応力が向上
- 先入れ先出し・検品に伴う作業負担の軽減につながるなど、取引先からは協力的・好意的な反応

■ 実施方法・実施にあたって留意した点

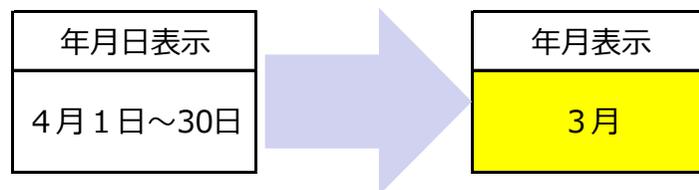
- 推進体制：プロジェクトチーム（生産、マーケティング、品質保証、物流、情報システム、お客様相談室、開発）を中心に販売、購買部門なども連携して取組を推進
- 情報システムの改修：移行にあたり、社内情報システムの改修（「年月」という概念の導入）を実施
- JANコード（※）は変更せずに賞味期限表示大括り化を実施

（※）JANコード：「どの事業者の、どの商品か」を表す、世界共通の商品識別番号。商品パッケージには、バーコードスキャナで読み取れるよう、バーコード化され表示されている。

事例4 カルビー株式会社：賞味期限を延長した上で、賞味期限表示大括り化を実施

- 賞味期限を延長せずに表示を大括り化すると、賞味期限表示は最大1ヶ月短くなります。
- カルビー株式会社では、賞味期限表示大括り化に向けて、2014年から賞味期限延長の検討に着手し、品質的な見通しが立ち、賞味期限を延長した上で、賞味期限表示大括り化を実施しています。

賞味期限の延長をせずに「年月表示」に移行した場合



カルビー株式会社の事例の場合

対象商品の賞味期限を延長して、年月表示に切り替えているため、賞味期限が短くなっていない。

実施時期	商品		賞味期限の延長		アイテム数
			延長前（年月日表示）	延長後（年月表示）	
2019年6月1日～	成形ポテトチップス（ポテトチップクリスプ）		12ヵ月	13ヵ月	9アイテム
2019年10月1日～	ポテトチップス（堅あげ含む）		4ヵ月	6ヵ月	255アイテム
2020年3月1日～	Jagabee （じゃがビー）	40g（スタンドパック型）	4ヵ月	6ヵ月	17アイテム
		80g（16g×5袋入り）	3ヵ月	6ヵ月	

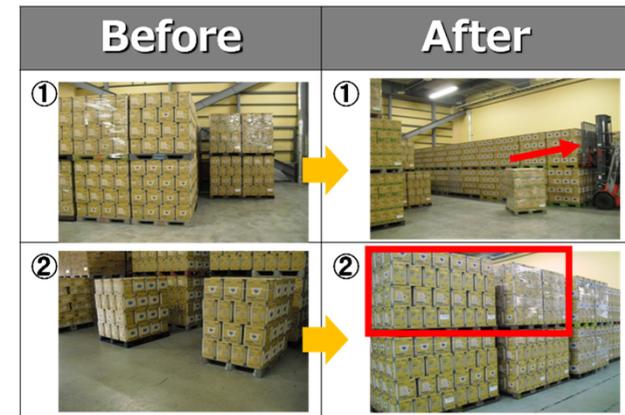
事例5 キリンバレッジ株式会社

- 実施時期・実施内容：商品全体の90%程度を「年月表示」及び「日まとめ表示」へ移行済

賞味期限表示大括り化実施済	表示方法	
	賞味期限 1 年未満	賞味期限 1 年以上
賞味期限180日以上PET、缶、紙、瓶商品	日まとめ表示 (旬管理)	年月表示

賞味期限表示大括り化による
保管効率向上イメージ

商品管理区分がまとまることで、従来は分けて保管していた商品を、同じ場所に保管できるようになる



- 賞味期限表示大括り化による効果

- 商品管理単位数が減少したことで、物流部門の需給管理・在庫管理等の業務負担が軽減
- 在庫を月単位で管理できるようになり、在庫の偏在を防ぐための拠点間配送が減少
- 商品管理区分が月単位にまとまることで、在庫日付の確認、在庫引当、ロケーション決定などの業務負担が軽減
- 商品管理区分が月単位にまとまることで、保管スペース・保管作業が効率化

- 実施方法・実施にあたって留意した点

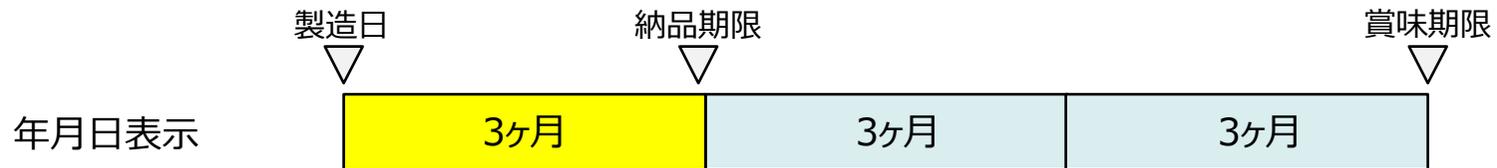
- 日まとめ表示の導入：賞味期限が短くなるほど、年月表示化による納品期限短縮が大きくなり、廃棄リスクが高まる。リスクを抑えるため、賞味期限9ヶ月以上12ヶ月未満品は「年月表示化」ではなく、10日単位にまとめる「日まとめ表示化」(旬管理)とした
- 情報システムの改修：倉庫管理及び製品需給管理に関わる在庫管理システムを年月表示化に対応させることが必要
- JANコード(※)変更なしでの移行するための対応：月の途中で年月表示に移行すると、移行後の商品が移行前の商品より古い賞味期限表示となり出荷できなくなるため、月替わりのタイミングで実施

(※) JANコード：「どの事業者の、どの商品か」を表す、世界共通の商品識別番号。商品パッケージには、バーコードスキャナで読み取れるよう、バーコード化され表示されている。

事例 5 キリンバレッジ株式会社：賞味期限が短い場合の対応－「日まとめ表示」

- キリンバレッジ株式会社では、賞味期限が短い商品の場合、年月表示ではなく、10日単位に表示日付をまとめる「日まとめ表示」（旬管理）で対応しています。

商品の元の賞味期限が9ヶ月、納品期限が賞味期限2/3残しの場合



店舗への納品期限が2/3（最大）になる



店舗への納品期限の減少幅を10日（最大）に抑えることができる

廃棄リスク増加を抑えることが可能

「日まとめ表示」の表示方法

年月日表示	日まとめ表示
4月1日～10日	3月31日
4月11日～20日	4月10日
4月21日～30日	4月20日

出所：キリンバレッジ株式会社資料および同社ヒアリングにもとづき、流通経済研究所作成。